

(別添1)

## オプトアウト

「深部静脈血栓症診断における凝固・線溶波形解析の有用性の評価」に関する研究について

公益財団法人天理よろづ相談所病院臨床検査部では2022年5月から2025年12月までの期間に凝固線溶検査を受けられた患者さんの残余検体を用いて研究を実施しております。本研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」にご連絡ください。

### □研究名

「深部静脈血栓症診断における凝固・線溶波形解析の有用性の評価」

### □研究背景・目的

深部静脈血栓症とは、四肢または骨盤の深部静脈で血液が固まり血栓ができる病気です。凝固・線溶波形解析(CFWA)は、血液が固まり血栓ができる反応(凝固反応)から血栓が溶ける反応(線溶反応)の過程を分析する方法です。

現在、CFWAは凝固異常症、血液疾患および播種性血管内凝固症候群などの病態解析に活用されています。一方、血栓症(血管内に血栓ができる病気)の評価に関する研究は少なく、静脈血栓症についてはいまだ不明点が多いです。そのため、我々は静脈血栓症診断への有用性を明らかにするために研究を行っています。

### □取り扱う資料および診療情報

凝固線溶検査用に採血された残った検体(残余検体)を使用させていただきます。

使用する診療情報は性別、年齢、基礎疾患、臨床症状、検査データ、抗凝固療法の有無と薬剤の種別です。

### □個人情報保護の方法と管理

使用する診療情報は連結可能匿名化(暗号化)した後、研究に利用します。情報管理は臨床検査部内個人識別情報管理者(技師長 嶋田昌司)が実施する

### □倫理上配慮すべき事項

本研究は診療目的に採血された残余検体を用いるため、患者さんの負担になるような行為はありません。

本研究は(公財)天理よろづ相談所病院倫理審査委員会にて、研究に参加される方の安全

性の確保、科学性に問題がないかについて倫理審査を受けており、承認を得て実施されています。

□研究成果の公表について

研究の成果を検査の向上・発展のため、学会に公表することがありますが、患者さんの残余検体および診療情報は連結可能匿名化(暗号化)されていますので、第三者・本研究担当者に患者さんの情報が明らかになることはありません。

□研究への残余検体および診療情報使用の取り止めについて

取り止めを希望される場合には、「問い合わせ窓口」にご連絡ください。希望を受けた場合、患者さんの血液および診療情報を本研究に用いません。取り止めることによる不利益はこうむりません。

□問い合わせ窓口

この研究についてのご質問は、

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 部長 上岡 樹生 連絡先 0743-63-5611  
にお問い合わせください。

研究責任者

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 吉岡 明治

個人識別情報管理者

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 技師長 嶋田 昌司